

# 入笠山・大阿原湿原

2016.8.31 (水、晴れ) 単独行

台風一過の好天予報が続く。延び延びになっている「富士山」登山の絶好の好機到来であるが、伊東園の誕生月割引(3000円引き)を同じ8月生まれのSさんと割引適用のギリギリの31日に予約してある。キャンセル料取られるのも損なので予定どおり白樺湖ビューホテルに泊まる事にして、明日はSさんの希望の八ヶ岳赤岳登山にする。明日に疲れが残らないように軽めの登山と言う事で久しぶりの入笠山にする。花も楽しめそうなので。

自宅 7:30~(安曇野ICから高速利用、81KM) 9:00 沢入入笠山登山口P 9:10~(入笠湿原経由) 11:10 入笠山(1955M, 日本三百名山、昼) 11:45~大阿原湿原一周~(やまびこ荘経由) 14:20 沢入登山口P 14:35~15:20 白樺湖ビューホテル(泊)

昔は入笠山直下の駐車場や大阿原湿原まで車で行けたが、今は途中の沢入登山口までしか一般車は通行できなくなった。(お蔭で富士見パノラマスキー場のゴンドラリフトは大儲けのようだ、この日も大勢ゴンドラリフト利用で入山していた) 駐車場先にはゲートがあって警備員がいた。駐車場にはトイレがあり、6台車が駐車していた。土日には満車になるだろう。此处から幅の広い整備された登山道を登る。樹林帯で日陰で涼しくあまり汗はかかないで快適に歩ける。上部はやや狭くなるが立派な登山道である。

沢入登山口。



1時間弱で入笠湿原に着いたら大勢のハイカー・観光客で賑やかである。ゴンドラ利用の人達である。トリカブト・エゾリンドウ・アキノキリンソウ・ツリフネソウ・ウメバチソウなどが群生している。エゾリンドウの数は物凄く多い。サワギキョウ・マツムシソウなどは終わりに近づいている。入笠山への登山道もこの時期にして

は見事な数の花々が咲いている。ノアザミ・サラシナショウマ・ワレモコウ・ヤマハギ・ノコンギクなど。キキョウは末期だった。

エゾリンドウとウメバチソウ



ゲンノショウコ



山頂は日本百名山22座が展望できる。快晴の天気予報だったが北・南・中央アルプス等はボンヤリしていて残念。八ヶ岳～美ヶ原方面は良く見えたが。この山頂へは冬季を含めて何度か来たが展望と花が素晴らしい名山である。コーヒーを沸かして、山を眺めながらの昼食。長袖シャツを着て丁度の涼しさで快適だ。(風が少しあったので) 大阿原湿原に向かう。

八ヶ岳連峰



入笠山頂



舗装道路を少し歩くが道端には何と先日尾瀬で見て感激した「アケボノソウ」が点々と咲いていて大興奮。これはお薦めです。朝8時までは車が進入できるので、早朝にこの花を見に来るのも良いのではと思う。盛期はこれからの感じだったので9月末まで楽しめそうだ。

シモツケソウ



アケボノソウ



大阿原湿原はちょっとガッカリした。花がほとんど無いのだ。アケボノソウが点在し、トリカブト数輪のみ。

首切清水



首切清水



大阿原湿原



花は無し



花は無し



エゾリンドウは全く見られなかった。コナシとレンゲツツジが多かったのが7月頃は良い感じだったが。そのせいか、この時期此処まで足を延ばす人は少ないようで、4組ほどとすれ違っただけだった。でもアケボノソウを見るだけでも足を延ばす価値はあると思うのだが。帰路は又舗装道路を延々と歩くがアケボノソウ・ノコンギク・ヤマハギなど道端の花を眺めながらでそれほど苦にならなかった。

下山したら、駐車場に大型バスが4台来た。ゴンドラで入山し、下山はこのコースで下る団体客の迎えのようだ。

宿へ着いてまずは缶ビールを飲んでから温泉に入り、Sさんの到着を待った。そして飲み放題の酒を二人で飲んで20時には寝た。明日は4時出発で5時には歩き出す予定なので。